

# 都市計画マスタープラン（素案） 町民説明会

小野町都市計画マスタープラン策定本部

# 本日の説明次第

1 都市計画マスタープランの基本的な考え方

---

2 まちづくりの課題整理

---

3 全体構想

---

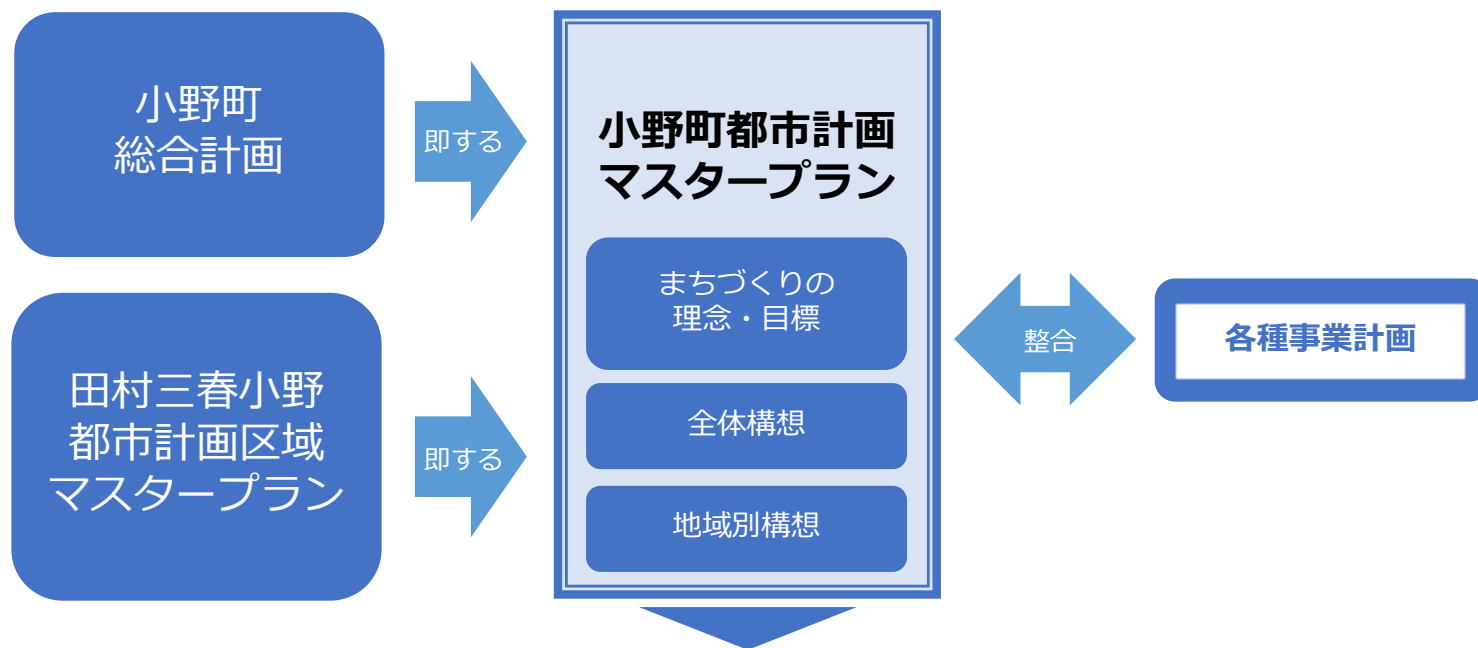
4 地域別構想

---

# 1. 都市計画マスタープランの基本的な考え方

## ◆ 都市計画マスタープランとは

おおむね20年後の長期的な展望に立った「目指すべきまちの姿」を描き、その実現に向けた都市計画の基本的な方針を目指すもの



### 《都市計画マスタープランの活用》

#### 土地利用規制・誘導

- ◇ 地域地区の区分
- ◇ 地区計画 etc.

#### 都市計画事業

- ◇ 都市施設  
(道路、公園・緑地、河川、公共公益施設等) etc.

# 1. 都市計画マスタープランの基本的な考え方

## ◆ 策定の目的

まちの将来像や土地利用、都市施設整備の方針を明らかにすること

### 目標年次

策定年時からおおむね20年後



令和25年度（2043年度）

- ✓ 社会情勢や生活スタイルが著しく変化することが見込まれること
- ✓ 上位計画である小野町総合計画の計画期間が5年間であること  
を踏まえ、**本都市計画マスタープランも適時見直す**

### 対象区域

町全域

※都市計画区域外を含む一体的な取り組みを想定

## 2.まちづくりの課題整理

### ◆土地利用

#### 住宅地

- ◆ 住環境の向上
- ◆ 居住誘導
- ◆ 空き家・空き地等の有効活用

#### 商業地

- ◆ 都市機能の集積
- ◆ 賑わいの再生
- ◆ 地区の役割の明確化

#### 工業地

- ◆ 雇用の促進、産業の活性化
- ◆ 働く場の創出

#### 農地・自然

- ◆ 自然環境の保全
- ◆ 農地、山林の保全

## 2.まちづくりの課題整理

### ◆都市施設

#### 交通施設

- ◆ 歩行空間の確保
- ◆ 公共交通の充実
- ◆ インフラの維持

#### 公園・緑地

- ◆ 公園・緑地の適正管理・配置

#### 河川

- ◆ 河川等の維持
- ◆ 浸水被害対策

#### 公共施設等

- ◆ 適正配置
- ◆ バリアフリー化の促進
- ◆ 医療施設の維持
- ◆ 子育て環境の充実

## 2.まちづくりの課題整理

### ◆都市環境

#### 景観

- ◆ 自然環境の保全
- ◆ 歴史資源の保全
- ◆ 景観づくりの誘導

#### 環境

- ◆ 自然の保全・活用
- ◆ 資源循環の促進

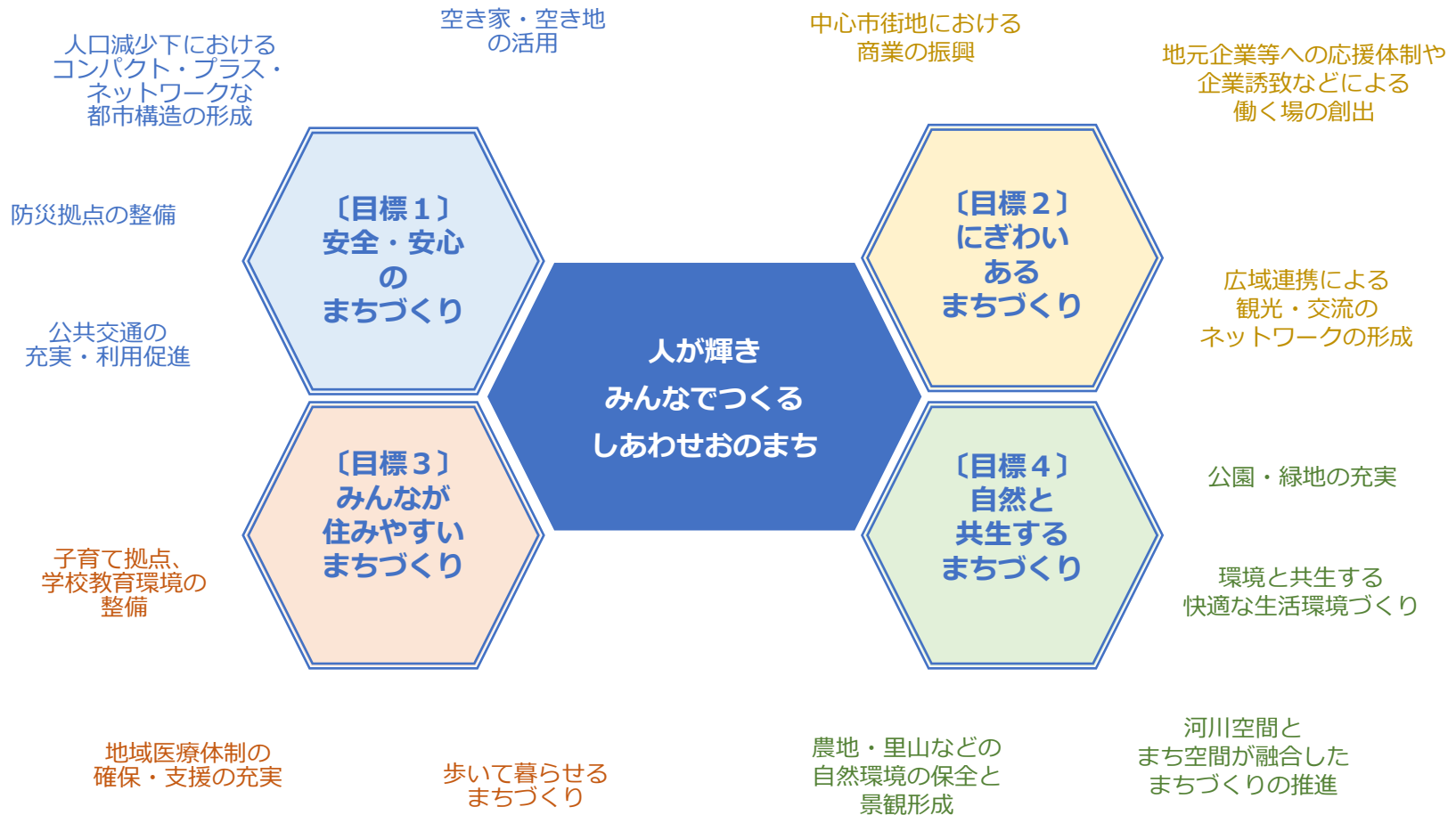
#### 防災

- ◆ 都市防災の強化
- ◆ 防災まちづくりの推進

# 3.全体構想

## ◆基本理念

### 人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち 「小野町総合計画」に定める将来像





# 3.全体構想

## ◆将来都市構造

将来の都市の骨格をなす

姿形を表現

基本ゾーニング

都市拠点

都市軸

の配置、機能の位置づけを定める

凡 例		
 市街地形成ゾーン	 防災拠点	 広域連携軸
 インター周辺ゾーン	 地域交通拠点	 拠点連携軸
 自然環境保全ゾーン	 中心市街地拠点	 水と緑の軸
 水源涵養保全ゾーン	 地域生活拠点	
	 中山間地域拠点	



# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

- 市街地形成ゾーン
- インター周辺ゾーン
- 自然環境保全ゾーン
- 水源涵養保全ゾーン



# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

### 市街地形成ゾーン

良好な住環境を維持するため、  
 今後は  
**用途地域などの地区計画の設定**

地勢に応じた誘導を図る



# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

### インター周辺ゾーン

#### 高速交通体系の結節拠点

広域的な連携・交流を  
促進するためのエリアとして、  
物流機能や産業・業務機能  
をはじめとする

多様な都市機能の立地の誘導



# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

### インター周辺ゾーン

広域連携軸が重なる場所に  
位置し、高い防災性を  
有している

安全・安心の拠点となり持続可能な  
行政サービスを図るため

**小野町役場の新庁舎を整備**

また、有事の際の支援拠点として

**防災機能の充実を図る**





# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

### 自然環境保全ゾーン

**山林と農地**は、  
本町の**景観特性**として保全

**環境保全の観点**から、  
**緑地**の積極的な保全



# 3.全体構想

## 基本ゾーニング

### 水源涵養保全ゾーン

現在の水源地周辺の  
**山林の保護と**  
**水源の確保**を積極的に進める

安全で美味しい水を  
 安心して飲める環境を確保



# 3.全体構想

## 都市拠点

### 防災拠点

役場庁舎の移転先

### 地域交通拠点

JR磐越東線小野新町駅、夏井駅

### 中心市街地拠点

商店や文化機能など多様な機能が  
集積する中心市街地

### 地域生活拠点

国道349号沿線にある商業集積地

### 中山間地域拠点

まとまったコミュニティ単位に  
整備されている集会所等





# 3.全体構想

## 都市拠点

### 広域連携軸

磐越自動車道

あぶくま高原道路

国道349号

ふくしま復興再生道路

### 拠点連携軸

県道9路線

- ・ 主要地方道7路線

- ・ 一般県道2路線

### 水と緑の連携軸

右支夏井川・夏井川



# 3.全体構想

## ◆分野別構想とは

まちづくりに関連する  
施策や取り組みを

土地利用の方針

土地利用の配置方針

の観点から着目し、

まちづくりの方針を整理するもの



# 3.全体構想

## ◆土地利用の方針

地域特性に応じた役割が明確な

土地利用の誘導



住居系、商業系、工業系、  
それぞれの機能配置の明確化



良好な居住環境の創出と  
乱開発を抑制した秩序ある土地利用の  
展開を図り、  
各機能が相互に補完できる役割が  
明確な土地利用を図る



# 3.全体構想

## ◆土地利用の方針

効果的な結びつきによる

結節性の強化



各種機能を効果的につなぐ軸形成  
密接に結びつく機能配置



結節性を強め、

高速交通体系と地域交通網が

連携を果たすよう効果的誘導を図る



# 3.全体構想

## ◆土地利用の方針

豊かな自然資源の  
維持・保全と活用



森林景観や市街地緑地など  
優れた自然環境を、  
町の環境を醸成する貴重な財産として保全



河川空間とまち空間が融合した  
にぎわいある良好な空間形成を目指し、  
水と緑を有効に活用する





# 3.全体構想

## ◆主要用途の考え方

主要用途	用途の配置の考え方
住居系用地	住宅環境を維持する地区
集落居住地	周辺集落地区において、今後農村環境の整備と一体になって居住環境を維持する地区
商業系用地	商業等の業務の利便性を高める地区
沿道型業務地	幹線道路や主要な道路沿道で自動車利用者や最寄りの利用者に対するサービス機能を高める地区
工業系用地	工業の立地を図る地区

# 3.全体構想

## ◆主要用途の考え方

主要用途	用途の配置の考え方
産業・業務複合用地	地域の利便性向上に資する産業、物流、防災機能などの機能を集積する地区
公共公益施設用地	官公庁及び公共施設の立地を図る地区
生産農地	農業生産基盤を保全・整備すべき地区
保全緑地	貴重な自然資源として保全・活用すべき地区
森林公園	森林レクリエーション施設として活用する地区

# 3.全体構想

## ◆都市施設の方針

### 道路交通施設

- 新庁舎と中心市街地を核とする町内交通ネットワークの強化
- 町道等を維持・管理
- 市街地内の主要施設と商業集積地とを結ぶ、河川を軸とする歩行系ネットワークの構築

### 公益的施設

- 教育施設、社会教育施設、医療・保健・福祉施設、観光・交流施設などの施設の整備・維持管理



# 3.全体構想

## ◆都市施設の方針

### 公園・緑地

- 町民の憩いの空間となる公園・緑地の整備
- うるおいある環境空間の創出に努める
- 既存公園施設の長寿命化や災害時の避難場所としても利用可能な体制づくりの強化
- 既存公園施設の機能強化
- 森林を活用したレクリエーション施設の維持・緑地空間を確保

### 河川

- 河川改修の整備促進や河川の活用

# 3.全体構想

## ◆都市環境の方針

### 自然的な景観

#### 本町の景観を構成する森林

- 自然環境や生態系などへの関心の高まりを受け、積極的に保全
- 緑化の推進及び生態系回復のための手だてを積極的に行う

### 都市の骨格となる空間の景観

#### 本町の都市景観の骨格となる道路及び河川

- 各々が市街地の都市景観の軸となるよう整備

# 3.全体構想

## ◆都市環境の方針

### 緑地環境

- 将来にわたって緑地環境を保全・育成・創出を図り、町民のうるおいと安らぎを与える緑地空間づくりに努める

### 都市防災

- 都市の防災面や公園等の空地問題など、都市活動が活発化するにつれ発生する様々な問題をひとつずつ解消
- 快適でゆとりある都市生活が享受でき、都市活動に支障を来すことのない都市環境の形成を図る

# 3.全体構想

## ◆実現化方策

### 実現に向けた基本的な考え方

事業の**目的や地区の状況等を整理し、**  
町民や事業者、団体のニーズに対応した  
**町民主体のまちづくり**を基本とする

### ●適切な手法の選択

目的に応じた適切な手法を選択、組合わせ、  
新たな課題に対応し、目指すべき将来都市構造を着実に実現するため、  
**優先度の高い事業に重点的に投資し、積極的な推進を図る**

### ●個別計画などの作成

本都市計画マスタープランを基本として、個別計画などを策定  
個々の計画や事業の熟度・効果を考慮し、まちづくりを推進する

# 3.全体構想

## ◆実現化方策

### ●個別計画

基本目標	方針
安全・安心のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少下におけるコンパクト・プラス・ネットワークな都市構造の形成</li> <li>・防災拠点の整備</li> <li>・公共交通の充実・利用促進</li> <li>・空き家・空き地の活用</li> </ul>
にぎわいあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における商業の振興</li> <li>・地元企業等への応援体制や企業誘致などによる働く場の創出</li> <li>・広域連携による観光・交流のネットワークの形成</li> </ul>
みんなが住みやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て拠点、学校教育環境の整備</li> <li>・地域医療体制の確保・支援の充実</li> <li>・歩いて暮らせるまちづくり</li> </ul>
自然と共生するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・緑地の充実</li> <li>・環境と共生する快適な生活環境づくり</li> <li>・河川空間とまち空間が融合したまちづくりの推進</li> <li>・農地・里山などの自然環境の保全と景観形成</li> </ul>



施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画や用途地域などの地区計画による居住地の誘導</li> <li>・新役場庁舎の建設</li> <li>・路線バスの維持や駅舎の充実、新たな公共交通システムの構築</li> <li>・空き家等の適正管理、利用</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道や休憩場所の整備</li> <li>・求人と求職のマッチング促進</li> <li>・小野インターチェンジ周辺開発事業の推進</li> <li>・広域観光事業の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の整備</li> <li>・公立小野町地方総合病院の維持</li> <li>・民間医療機関の維持</li> <li>・歩道や休憩場所の整備（再掲）</li> <li>・公共施設のバリアフリー化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園施設の長寿命化</li> <li>・河川空間におけるポケットパークの整備</li> <li>・治山、森林整備の促進と耕作放棄地の解消</li> </ul>

# 3.全体構想

## ◆実現化方策

### ●推進体制と財源確保

#### **まちづくりの推進体制**

地域づくり協議会の設立などを支援  
協働の推進体制を構築

#### **開かれた行政の推進**

町公式ウェブサイトの充実や  
公式SNS（LINE、Facebook、YouTube等）を活用した  
双方向の情報媒体を通じて、  
効果的な情報発信に努める

#### **持続可能な行政運営の推進**

経費全般の節減や自主財源の確保に向けた取り組みを進める  
財政状況の分析・公表により多様化するニーズの把握に努め、  
事業の厳選と財源配分を行う  
効果的・効率的な財政運営を推進

# 4.地域別構想

## ◆地域区分

土地利用の状況や日常生活上の交流の範囲を考慮し、適切なまとまりのある空間の範囲とすることが望ましい

旧町村単位での地域の設定

旧飯豊村 → 北部地域

旧小野新町 → 中部地域

旧夏井村 → 南部地域



# 4.地域別構想

## ◆地域間の連携

人口減少・高齢化等の人口構造の変化が進み、  
今後は地域間の連携が重要...

地域間連携を促進するため、  
歩行者や自転車にも配慮した、

**安全で利便性の高い連絡道路網の維持・整備**

行政や地域住民と民間事業者などの連携

➔**公共交通体系強化**



**3 地域間の連携**